

ジョイフル・アワー

『心の渇きを潤す愛と希望』

ヨハネの福音書4:3-14

岩井 基雄 牧師



聖書朗読

ヨハネの福音書 4:3-14

- 3 主はユダヤを去って、またガリラヤへ行かれた。
- 4 しかし、サマリヤを通って行かなければならなかった。
- 5 それで主は、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近いスカルというサマリヤの町に来られた。
- 6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた。時は第六時ごろであった。

7 ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。

イエスは「わたしに水を飲ませてください」と言われた。

8 弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。

9 そこで、そのサマリヤの女は言った。「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女の私に、飲み水をお求めになるのですか。」

--ユダヤ人はサマリヤ人とつきあいをしなかったからである--

10 イエスは答えて言われた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょう。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」

11 彼女は言った。「先生。あなたはくむ物を持っておいでにならず、この井戸は深いのです。その生ける水をどこから手にお入れになるのですか。」

12 あなたは、私たちの父ヤコブよりも偉いのでしょうか。ヤコブは私たちにこの井戸を与え、彼自身も、彼の子たちも家畜も、この井戸から飲んだのです。」

13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渇きます。

14 しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。

わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

メッセージ

「心の渇きを潤す愛と希望」

岩井 基雄 牧師

ヨハネの福音書 4:3-14